

事務事業名		介護保険特別会計 介護保険料賦課徴収業務		会計	介護保険	実施区分						
H28担当課等名		長寿支援課	H28係等名	介護保険係	H27係等名	介護保険係	事業種別	政策	開始	12	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり		施策	35	高齢者福祉の推進				
目的	対象(誰・何を)	介護保険の被保険者				対象指標	指標名及び単位		27年度数値			
	意図(どうい状態にするか)	介護保険被保険者証の交付、介護保険料の賦課を適正に行うことにより安定した制度運営を確保し、高齢者が安心して暮らすことが出来る					被保険者数(人)		31570			
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者の割合					介護保険料特別徴収対象者(人)		29714			
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	被保険者証交付者数/被保険者対象者数(%)				100	100	100	-			
	成果指標	お知らせ通知発送数/平準化対象者(%)				100	100	-	-			
定性目標												
事業概要	介護保険の被保険者は、飯田市に在住する満65歳以上の高齢者。被保険者の対象者を的確に把握し、被保険者証を交付するとともに介護保険料を賦課する。転出者・死亡者等は被保険者から外れるため、介護保険料を精算し、還付等の手続きを行なう。保険料の徴収は、特別徴収(年金からの天引)が約9割あり、残りが普通徴収であるが、普通徴収の収納業務は納税課で担当している。											
事業内容					名称			活動指標				
27年度事業内容	1 年齢到達者・転入者への被保険者証の発送				1 被保険者証発送対象者(H26.11.07見込)			1 1,608名				
	2 保険料の賦課・徴収				2 被保険者数(H26.11.07見込)			2 31,570名				
	3 平準化 介護保険料特別徴収対象者のうち、平成27年度暫定期間の期別納付額と年額1/6程度の金額に大きな差があると思われる者に対して実施する。特別徴収暫定期間のうち、6・8月納付額を減額または増額し、本算定期間の10月・12月・2月の納付額を、保険料年額のおよそ1/6として、平成27年6月～平成29年度2月の特別徴収額を平均的に揃える作業。対象者には、介護保険料額変更通知、平準化のパンフレットの発送を行う。				3 平準化対象者			3 30,000名				
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		9,726	13,333	12,962	11,238							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		9,726	13,333	12,962	11,238							
人件費計(千円)②		5,722	/	0	/							
正規職員所要時間		1,600										
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		15,448	13,333	12,962	11,238							
事業内容・目標達成状況の振り返り	資格取得者及び資格喪失者の抽出においては適正な把握を行うことで当初予算額のおよりの保険料を徴収することができた。平準化があり、業務量が増えましたが滞りなく業務を遂行することができました。											
改革改善の考え方	①問題点	納付書発送時、年数件、宛名不明で返送されてしまう納付書がある。この納付書に対しては公示送達を行っている。しかし、正確・適切な賦課を行うには、居住実態をしっかりと調査・確認・把握した上で公示送達を検討する必要がある。										
	②改革提案	・市民課、納税課等の関係課や介護保険施設との連携により把握する。 ・返送された納付書住所に実際に訪問し、実態把握を行う。										